

ジンバブエ共和国月報（2024年5月）

主な出来事

【内政・外交】

- ジンバブエ、来年の北欧・アフリカ外相会議の開催国に選ばれる
- ジンバブエと英国、関係改善への期待
- ジンバブエ、アンゴラと 11 の MoU に署名
- ヌーベ氏が CCC 党首留任
- SADC が臨時バーチャル首脳会談を開催
- SADC がサミット準備の進捗状況を賞賛

【経済・経済協力】

- 新通貨 ZiG 紙幣、硬貨の流通開始
- ジンバブエの 1、2 月の輸出額が昨年比 37%増加
- ジンバブエ: 政府が包括的な干ばつ救済計画を発表
- ジンバブエ穀物製粉業者協会がブラジルからのメイズ輸入を検討
- ジンバブエ準備銀行による違法両替取り締まり強化
- カリバ湖への流入水量減少による電力不足の見通し
- 過去 6 年間は歴史的な雇用増加
- 政府と国連、4 億 2930 万米ドルの干ばつ緊急アピールに署名
- Starlink、第 3 四半期にサービス展開へ
- AfDB 年次総会におけるジンバブエ延滞債務会議
- AfDB によるジンバブエ経済見通し
- ジンバブエ、2023 年に白金族金属において 21 億米ドルの収入

【内政・外交】

- ・ ジンバブエ、来年の北欧・アフリカ外相会議の開催国に選ばれる

ジンバブエは 2025 年半ばに開催される次回の北欧・アフリカ外相会議の開催国に選ばれた。この高官級会議には北欧 5 カ国（フィンランド、アイスランド、ノルウェー、デンマーク、スウェーデン）とアフリカ 32 カ国が集まり、アフリカと北欧諸国が両地域に影響を及ぼすさまざまな政治、経済、社会問題について話し合う。（6 日付、ヘラルド紙）

- ・ ジンバブエと英国の関係改善への期待

ジンバブエと英国間の貿易は、この 12 ヶ月で 76%増加した。これは、かつては冷え切っ

ていたジンバブエと英国の関係が、ムナンガグワ大統領の関与と再関与（engagement and reengagement）政策により、大きく雪解けしたことを意味する。また、英国政府がジンバブエとの関係正常化に強い関心を示しており、両国民の相互利益のために貿易や投資の機会を模索することで、両国がより親密な関係になることが期待されている。バウレス駐ジンバブエ英国大使は昨日、モハディ副大統領を表敬訪問した後、貿易関係、特に西側諸国への輸出の改善に引き続き取り組んでいくと述べた。（10日付、ヘラルド紙）

・ジンバブエ、アンゴラと11のMoUに署名

ジンバブエとアンゴラは昨日、農業、高等教育、司法、住宅などさまざまな分野で11の覚書（MoU）に署名し、両兄弟国の関係は深まり続けている。覚書は、前回の会合から32年ぶりに開催されたジンバブエ・アンゴラ合同常設協力委員会（JPCC）第2回会合中に、アンゴラのルアンダで署名された。JPCCには、ジンバブエのシャワ外務・国際貿易大臣、アンゴラのアントニオ対外関係大臣など両国の高官が出席した。（16日付、ヘラルド紙）

・ヌーベ氏がCCC党首留任

野党CCCのマフメ広報担当官によると、CCCのヌーベ暫定党首が引き続き実権を握る。ヌーベ暫定党首は、党が大会を開催するまで党の最高指導者の地位を保つことになる。副党首であったヌーベ氏は、チャミサ元党首の突然の辞任を受け、党が90日間の交代制指導体制を導入した今年2月からCCCを率いている。（18日付、デイリーニュース紙）

・SADCが臨時バーチャル首脳会談を開催

SADC加盟国の国家元首と政府首脳は、エルニーニョ現象による干ばつが引き起こした食糧不足に対処するためのバーチャル臨時サミットを召集した。SADC地域で食料援助を必要としている6千万人以上の人々に対応するために、55億米ドルの緊急支援へのアピールを開始した。サミットで演説したムナンガグワ大統領は、SADCが地域を養うのに十分な食料を生産する能力を高めることが重要であり、持続可能な農業慣行と食料システムへの投資が重要であると述べた。（20日付、ヘラルド紙）

・SADCがサミット準備の進捗状況を賞賛

ジンバブエで8月に開催される第44回SADCサミットに向け、SADCの準備チームが2回目の準備状況評価ミッションのためにジンバブエに来訪しており、大幅な改善と進展が見られることを確認した。SADC事務局は進捗に満足しており、サミットが大成功することに自信を表明した。（20日付、ヘラルド紙）

【経済・経済協力】

・新通貨 ZiG 紙幣、硬貨の流通開始

ジンバブエは4月30日、新通貨ジンバブエ・ゴールド (ZiG) の紙幣と硬貨 (ZiG1 から ZiG200 まで) の流通を開始した。新通貨の導入は、公共交通機関が定額運賃を課すことで、おつりとして使える硬貨がないことで不便を感じていた多くの通勤者の苦痛を和らげることが期待される。(5月1日付、ヘラルド紙)

ジンバブエ準備銀行(RBZ)が先月初めに導入した新通貨ジンバブエ・ゴールド(ZiG)に警戒感を抱く一般市民が多い中、ZiG の紙幣と硬貨の流通が開始されたが、早速、いくつかの銀行が現金の需要を満たすことに失敗した。ニュースデイ紙が昨日実施した調査では、銀行の大半は現金を持っていなかったことが示され、紙幣や硬貨を1ヶ月近く待っていた銀行関係者の間で懐疑論を煽った。また、銀行が発行しているのは硬貨と ZiG10 紙幣のみであることを確認した。(5月1日付、ニュースデイ紙)

・ジンバブエの1、2月の輸出額が昨年比 37%増加

国家貿易促進開発機関である ZimTrade によると、ジンバブエは、中国への出荷が大幅に増加したことにより、今年最初の2か月間の輸出額が前年同期比 37%増の 11 億 8000 万米ドルを記録した。

中国への輸出額は、昨年の同時期の 8750 万米ドルから 202%増の 2 億 6400 万米ドルに増加した。モザンビークへの輸出額は 123.7%増、ザンビアへは 60.4%増の 2260 万米ドルとなった。インドネシアへの輸出も目覚ましい伸びを示しており、2022 年の約 700 万米ドルから 211%増の 2170 万米ドルとなった。注目すべきは、香港への輸出も昨年1年間の 8 万 6000 米ドルから今年最初の2か月で 2380 万米ドルへと大幅に増加したことだ。ジンバブエ貿易局は、輸出が伸びただけでなく貿易収支の是正にも大きく前進したと述べた。

付加価値加工品の輸出額は 81%増の 8,050 万米ドルと著しい増加を示した。砂糖の輸出も 660 万米ドルから 2,230 万米ドルに増加し、輸出全体の増加を牽引した。鉱物および合金の輸出は 6 パーセントの成長後も引き続き輸出品の大半を占めており、金とニッケルマットがこの分野の主要輸出品となっている。加工タバコの輸出は 34%の大幅な増加となった一方、未加工タバコの輸出は 204%増の 3 億 4,600 万米ドルに急上昇し、驚異的な増加となった。(8日付、ヘラルド紙)

・ジンバブエ:政府が包括的な干ばつ救済計画を発表

政府は、壊滅的な干ばつにより影響を受ける 770 万人以上を養うために、都市部と農村部の両方への食糧援助の実施など、さまざまな対策を講じている。都市部の人々には食事の供給のための現金給付が与えられる。農村部の人々には1人あたり 22.5kg のトウモロコシが3ヶ月間与えられ、4ヶ月目には別の分割払いが行われる。冬の穀物作付けでは、電力、水、肥料、種子がすべて保証される。マスカ土地・農業・漁業・水・農村開発大臣は、政府は家

庭と農場の両方で、物事が順調に進んでいることを確認するためにあらゆる手段を講じていると述べた。(15日付、ヘラルド紙)

- ・ジンバブエ穀物製粉業者協会がブラジルからのメイズ輸入を検討

ジンバブエの民間部門は、商業的需要を満たすために40万トンのブラジル産メイズの輸入を計画している。メイズの戦略的備蓄は、以前の豊作期に貯蔵されていたが、現在は政府の家計支援プログラムのために確保されている。ジンバブエ穀物製粉業者協会(GMAZ)のムサララ会長率いる民間部門の代表団は、サンパウロでブラジルのメイズ業者と関わり、潜在的な貿易協定について議論する。2024年9月から2025年8月までの間に約40万トンの確保を目指している。昨年10月以来、GMAZは主に南アフリカから44万トン以上を輸入してきた。(16日付、ヘラルド紙)

- ・ジンバブエ準備銀行による違法両替取り締まり強化

今月初め、ジンバブエ準備銀行(RBZ)のムシャヤバヌ総裁は、新たに導入された通貨ジンバブエ・ゴールド(ZiG)を保護することを目的として、他の治安機関と協力して、違法な両替商や為替管理規制に違反する企業を取り締まるために金融情報ユニット(FIU)を動員した。大量の取引を分析して疑わしい活動を特定している。また、警察等と協力して、ZiGの導入以来220人の違法両替商を逮捕、90以上の銀行口座を凍結している。(18日付、ヘラルド紙)

- ・カリバ湖への流入水量減少による電力不足の見通し

ジンバブエは、カリバ湖への流入水量が半減し、国内最大のカリバ発電所の発電量減少により、部分的送電停止(load-shedding)の増加に直面している。今後数週間は電力不足の見通し。カリバ湖はザンベジ川沿いにあり、南部アフリカを襲ったエルニーニョ現象による干ばつのため、2023-24年雨期の降水量が例年以下となり、川の水量が大幅に減少した。World Weather Attributionによると、南部アフリカの大部分は平均を大幅に下回る降雨量を経験し、ジンバブエ、ザンビア、マラウィ、アンゴラ、モザンビーク、ボツワナは2月の降雨量が通常の20%以下しかなく、天水農業が壊滅的な被害を受けている。ザンベジ川局(ZRA)は昨日、ザンベジ川の水量が急速に減少していると述べた。(18日付、ニューズデイ紙)

- ・過去6年間は歴史的な雇用増加

フォーマルセクターで雇用された人々の数を表す国家社会保障局(NSSA)への新規雇用登録が約70万人に上昇し、過去6年間は前例のない雇用増加を記録した。昨年NSSAは179,000人以上の新規雇用を登録したが、2019年は雇用創出のピークとなり、フォーマルセクターで242,998という驚異的な新規雇用を記録した。Covid-19パンデミックの影響で経済活動

が減速した 2020 年には新規雇用創出の低迷が記録されている。NSSA のフンディラ委員長は、新規雇用の大幅な増加は、全国で進行中のインフラ開発プロジェクトに支えられていると述べた。(19 日付、サンデーメール紙)

・政府と国連、4 億 2930 万米ドルの干ばつ緊急アピールに署名

国連は、エルニーニョの影響による干ばつで食糧難に陥っている 300 万人以上の人々を支援するため、人道支援パートナーとの間で 4 億 2930 万米ドルの干ばつ緊急アピールに署名した。カロン国連ジンバブエ常駐・人道調整官は、昨日ハラレで行われたガルウェ地方自治・公共事業大臣との調印式で、人道支援は長期的な解決策にはならないことを意識しており、ジンバブエの気候変動が緩和されるよう、集中的な取り組みが必要であると述べた。(28 日付、ヘラルド紙)

・Starlink、第 3 四半期にサービス展開へ

世界的な衛星インターネットサービスプロバイダーである Starlink は、今年の第 3 四半期にジンバブエでサービスを展開する予定。高速性とカバレッジの拡大を通じて、ジンバブエの情報通信および技術サービスに革命を起こすと期待されている。先週末、政府が Starlink のライセンスを承認した。ライセンス要件は現在検討中。(29 日付、ヘラルド紙)

・AfDB 年次総会におけるジンバブエ延滞債務会議

第 59 回アフリカ開発銀行 (AfDB) 年次総会にあわせて開催されたジンバブエ延滞債務会議において、ヌーベ財務大臣は、ジンバブエの公的債務は対外債務 130 億米ドルと国内債務 62 億米ドルの計 192 億米ドルと推定されていると述べた。また、対外債務の延滞が 67 億米ドルにのぼり、債務困窮に陥っていると付け加えた。しかし、債権者の代表としてレイ・スイス大使が、先月ワシントンで開催された世界銀行/国際通貨基金 (IMF) の春季会合でヌーベ財務大臣は公的債務総額が 219 億米ドルと述べたと指摘し、これらの数字に疑問を呈した。AfDB のクヌーセン事務局長は、債務が今年初めに報告された数字から 30 億米ドル、つまり GDP の約 10%にのぼる額が追加されていることを指摘し、国際金融機関やドナーに対して完全な透明性を保つよう求めた。これらに対し、金融・経済開発・投資促進省のブンベ公的債務管理局長は、年次透明性報告書等を通した正確な債務額の公表を約束した。(29 日付、デイリーニュース紙)

・AfDB によるジンバブエ経済見通し

アフリカ開発銀行 (AfDB) は 30 日に公開した「アフリカ経済見通し (African Economic Outlook)」報告書の中で、2024 年のジンバブエの経済成長予測を、従来の 3,6%から 1,6%ポイント引き下げて 2,0%とした。主な理由として、エルニーニョ現象による農業生産高の低下と、国際鉱物価格の下落による鉱業生産の低迷を挙げた。また、2024 年のインフレ率を

平均 24.9%と予測した。なお、2025 年の経済成長予測は 0.1%ポイント引き下げて 3.5%とした。AfDB は、ジンバブエが 2024 年下半期に国際通貨基金(IMF)のスタッフ・モニタリング・プログラム (SMP) を受け入れる予定であることから、新通貨 ZiG の価値を維持し、準財政活動を廃止することで、マクロ経済の安定を回復できると述べた。根強い社会経済的圧力のために推定 300 万人の主に熟練労働者が流出したことなどにより、ジンバブエの労働生産性はアフリカの低中所得国の中でも非常に低い水準にとどまっているとし、投資のための財政余地の創出、外国直接投資の誘致、グローバルな資金調達への道を開くための債務再編と延滞金清算が必要であると指摘した。(29 日付、デイリーニュース紙)

・ジンバブエ、2023 年に白金族金属において 21 億米ドルの収入

ジンバブエの白金族金属(PGMs)産業は、世界的な市場価格下落の影響にもかかわらず、昨年輸出により 21 億米ドルの収入があり、依然としてジンバブエ経済に大きく貢献している。PGM は金に次ぐ第二の輸出収入源であり、プラチナと金はジンバブエの輸出収入の 50%以上を占める。チタンド鉱山・鉱業開発大臣は 29 日の PGM シンポジウムで、エネルギー転換における PGMs の役割の促進、国内製油所建設の戦略的資金調達、明確な輸入政策の実施などに取り組むことによって、経済成長を促進できると述べた。(31 日付、ヘラルド紙)